

日時	平成**年**月**日（*曜日）**:*~**:*	場所	音楽室
指導者	****(T1), ****(T2), ****(T3), ****(T4), ****(T5)		
単元名	みんなで一緒に歌おう！たたこう！		
単元設定の理由	<p>本学年は男子*名、女子*名の計10名で構成されている。児童の多くは、自分の気持ちを相手に伝えようとする意志が強くあり、教師や友達と自らかかわる姿が多く見られる。本学年には、自閉症を併せ有する児童がおり、障害特性から特定の音や音楽を苦手とする児童も在籍している。音楽に関しては、歌を歌ったり、聴いたり、音に合わせて身体を動かしたりすることが好きな児童である。友達の動きを意識したり、合わせて演奏したりすることは難しいが、旋律楽器を使ってメロディーの一部分を弾くことができる児童やバチを持って打楽器をたたくことができる児童がいる。</p> <p>これまで、音楽に合わせて自由に身体を動かす身体表現を中心に活動してきた。音楽を聴いて、自分の思うままに身体を動かしたり、好きな歌を見つけたりする経験を積み重ねることで、「音楽が好き」「楽しい」というような感想をもつ児童が増えてきた。そこで次のステップとして、友達や教師など、みんなで一緒に音楽活動することの楽しさを知り、自分から楽器に触れようとしたり、友達の輪に入って歌おうとしたりする気持ちを育てていきたい。特別支援学校小学部学習指導要領解説の〔音楽科の意義〕には、「身近な友達や教師と楽しみながらかかわることが大切」とある。このように、身近な人と一緒に歌ったり、演奏したりする音楽活動に取り組むことで、音や音楽を通したやりとりが広がり、集団活動の中で友達を意識することにもつながっていくと考える。</p> <p>そこで本単元では、特別支援学校小学部学習指導要領音楽科の内容「1段階(1)音楽が流れている中で体を動かして楽しむ。(2)音の出るおもちゃで遊んだり、扱いやすい打楽器などでいろいろな音を鳴らして楽しむ。」を踏まえて、友達と一緒に手をつないだり、肩を組んで歌ったり、音楽に合わせて友達や教師と一緒に楽器を演奏する活動を多く取り入れていく。また、少人数ごとに前に出て、歌唱や演奏の発表を行い、友達や教師から拍手を受けることで、自分の頑張りが認められたという経験をすることができるようにする。この経験は、意欲の向上につながるだけでなく、友達や教師とのかかわりを深めていくことにもつながると考える。</p> <p>指導にあたっては、明るく楽しい歌を選び、歌いたいという思いをより引き出せるようにする。また、友達の歌唱や演奏の発表に対して静かに耳を傾けることの大切さを伝え、発表しやすい環境を整えるようにする。</p>		
単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・友達や教師と一緒に演奏することができる。 ・曲の明るい雰囲気を感じとり、大きな声で歌うことができる。 		
指導時間 (12時間扱い) 本時は8時間目	<p>第一次 歌詞を覚えて、みんなで歌おう！・・・・・・・・・・・・・・・・（3時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌に登場する動物のイラストを見て、歌詞の意味を知ろう。 <p>第二次 音楽に合わせて、手をたたこう！・・・・・・・・・・・・・・・・（3時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3拍子「タンウンウン」のリズム打ちをしよう。 <p>第三次 みんなで一緒にたたこう！・・・・・・・・・・・・・・・・（6時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループに分かれて打楽器を演奏しよう。 		

[本時の目標]

1 全体目標

- ・友達や教師と一緒に自分のパートを演奏することができる。

2 児童の実態及び個別目標等

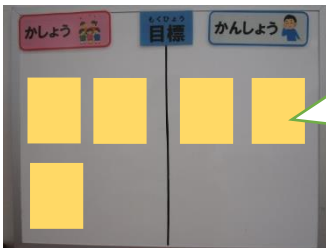
担当児童 学年(性別)	児童の実態				個別目標	主な指導場面 評価方法
	①最後まで、音楽活動に取り組むことができる。	②友達や教師とコミュニケーションを図ることができる。	③3拍子のリズムに合わせて、リズム打ちをすることができる。	④打楽器を使って演奏することができる。		
A 4年 *	歌唱：○ 器楽：◎	○	◎	◎	友達の演奏や伴奏に合わせて、一定の速さでリズム打ちをすることができる。	4-(4) [観察]
B 4年 *	歌唱：○ 器楽：△	△	△	△	ゆっくりしたリズムに合わせて、手本を見ながら太鼓をたたくことができる。	4-(3) [観察]
C 4年 *	歌唱：△ 器楽：△	△	△	△	太鼓のたたく面を見て、曲の一部分をたたき続けることができる。	4-(3) [観察]
D 4年 *	歌唱：○ 器楽：○	◎	○	○	3拍子のリズムに合わせて、手本を見ながら演奏することができる。	4-(3) [観察]
E 4年 *	歌唱：○ 器楽：○	◎	○	○	「タンウンウン」のリズムに合わせて、手本を見ながら太鼓をたたくことができる。	4-(3) [観察]
F 4年 *	歌唱：◎ 器楽：◎	◎	◎	○	自分が演奏をするパートを覚え、リズムカルに太鼓をたたくことができる。	4-(4) [観察]
G 4年 *	歌唱：◎ 器楽：○	◎	○	○	休符を意識して、リズムよく太鼓をたたくことができる。	4-(3) [観察]
H 4年 *	歌唱：△ 器楽：△	○	△	△	手本を見て、言葉かけを聴きながら、2小節以上リズム打ちをすることができる。	4-(3) [観察]
I 4年 *	歌唱：△ 器楽：◎ <small>演奏できるが、曲に合わせて難しい。</small>	△	◎	○	太鼓をたたく部分とたたかない部分を覚え、3拍子のリズム打ちをすることができる。	4-(3) [観察]
J 4年 *	歌唱：△ 器楽：△	△	△	△	バチを持ち、曲の最後まで太鼓をたたき続けることができる。	4-(3) [観察]

【評価基準】

- ① ◎：最後まで歌を歌ったり，楽器を使って演奏したりすることができる。
○：サビの部分や歌ったり，得意な部分を演奏したりすることができる。
△：言葉かけを聴き，手本を見ることで，歌の一部分を歌ったり演奏したりすることができる。
- ② ◎：友達や教師に話し掛けたり，遊びに誘ったりと，自らかかわろうとすることができる。
○：友達から誘われたり，話しかけられたりすることで，活動に参加することができる。
△：教師からの言葉かけを受けて，活動に参加することができる。
- ③ ◎：3拍子の曲に合わせて，一定の速さでリズム打ちをすることができる。
○：拍子に合わせて手をたたき見本を見ることで，リズム打ちをすることができる。
△：教師と一緒に手を叩き，メロディーや手をたたき音を聴いて楽しむことができる。
- ④ ◎：音楽に合わせて，自分のパートを演奏することができる。
○：言葉かけを聴くことで，曲の一部分を打楽器で演奏することができる。
△：バチを持って，教師と一緒に太鼓等の楽器をたたきすることができる。

3 展開

※形態の表記は全体：全，グループ：グ，個別：個

形態 時間 (分)	主な学習内容・活動 (必要に応じて配置図等を入れる)	指導の手立て(各 T の役割等) ※評価は□で囲む
全 (7)	<p>1 本時の学習内容を確認する。</p> <p>(1)はじめのあいさつをする。</p> <p>(2)本時の学習の流れを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>①目標の確認</p> <p>②身体表現 (スカーフ・マイムマイム)</p> <p>③手と手と手と</p> <p>④たぬきのたいこ</p> <p>⑤振り返り</p> </div> <p>(3)目標の確認をする。</p> <p>①全体</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>歌唱</p> <p>大きな声で，楽しく歌おう！</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>器楽</p> <p>みんなでリズムに合わせて演奏しよう。</p> </div> </div> <p>②クラスごとに一人ずつ</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;">顔写真</div> </div>	<p>指導の手立て(各 T の役割等) ※評価は□で囲む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピアノの和音を号令の合図にすることで，音楽の授業の始まりを意識できるようにする。 ・T1 は，児童が見通しを持って取り組むことができるよう，ホワイトボードに本時の流れを掲示する。 ・授業項目の横に矢印を貼り，学習内容が進むごとに移動をする。 ・[全体] T1 は歌唱と器楽に分けて目標を提示する。 ・[クラス] T1 と T2 はミニホワイトボードを使い，児童一人一人に対して目標を聞き，自分の写真を貼るように言葉掛けをする。 ・確認後は，常に児童が自分の目標を確認できるように，ミニホワイトボードを見えるようにしておく。

<p>全 (5)</p>	<p>2 身体表現をしよう</p> <p>(1)クラシック音楽の曲調に合わせてスカーフを振り、身体を動かす。</p> <p>(2)全員で輪になって手をつなぎ、マイムマイムの曲に合わせて身体を動かす。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ T1~5 は手本を示しながら、テンポの速い曲のときはスカーフを細かく振って小走りし、テンポの遅い曲のときはスカーフを大きく振って、ゆっくりと歩くことを伝える。 ・ 自分でスカーフを持つことができない児童には、スカーフに髪ゴム等を付け、手首に付けられるようにする。 ・ 曲調に合わせる事が難しい児童には、自由に身体を動かして、身体表現が楽しめるように促す。 ・ 音楽に合わせて、輪が小さくなったり大きくなったりすることを伝え、全員で一つの曲を楽しむことができるようにする。 ・ T1~T5 は、児童と児童の間に入り、輪が小さくなったり大きくなったりするタイミングを言葉と行動で伝えるようにする。 ・ E が緊張から輪に入れないときには、T4 が言葉掛けをする。
<p>全 (6)</p>	<p>3 「手と手と手と」</p> <p>(1)歌うときの姿勢や口の大きさを確認し、一度発声をする。</p> <p>(2)手振りを付けて、「秋」の部分进行を歌う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ T1 は、カードを用いて確認する内容を提示する。 ・ T2~T5 は足の幅や、手と目線の位置が確認内容と違う児童がいた場合には、ミニホワイトボードを見て確認するように言葉掛けをする。 ・ T1 は、実際に大きな口を開けて「アー」と発声するように言葉掛けをする。 ・ T1 は、大きな声で歌えているときには、「その調子！上手だよ」等と言葉掛けをし、自信を持って歌えるようにする。 ・ 次の意欲につながるよう、歌い終わった後に、「もっと〇〇するといいいよ」と課題点を伝え、もう一度歌うことを伝える。
<p>全 (10)</p>	<p>4 「たぬきのたいこ」</p> <p>(1)伴奏に合わせて、「たぬきのたいこ」を歌う。</p> <p>①全員で歌う ②1組だけで歌う ③2組だけで歌う</p> <p>(2)3拍子のリズム打ちをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「タンウンウン」のリズムに合わせて手をたたく。 ・ パーランカーを使って、3拍子のリズム打ちをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ T1 は、「たぬきのたいこ」の伴奏をする。 ・ より自信を持って歌うことができるよう、歌詞カードを提示する。 ・ 歌い終わった後に、大きな声で歌えている児童や姿勢が良かった児童の名前を発表し、「嬉しい」「頑張ろう」「楽しい」という思いを引き出せるようにする。 ・ T1 が伴奏し、T2 が前に出てリズム打ちの手本を示す。 ・ 一人一つパーランカーを用意し、全員が練習できる環境を整える

<p>グ (7)</p>	<p>(3)4 つのグループに分かれて、パート練習を行う。</p>	<p>・【グループ】</p> <table border="1" data-bbox="829 138 1444 336"> <tr> <td>1 グループ</td> <td>A, E</td> <td>T1</td> </tr> <tr> <td>2 グループ</td> <td>F, G, I</td> <td>T2</td> </tr> <tr> <td>3 グループ</td> <td>B, D</td> <td>T3</td> </tr> <tr> <td>4 グループ</td> <td>C, H, J</td> <td>T4-T5</td> </tr> </table> <p>・たぬきのお腹に見立てた布を身体に着け、たぬきになりきって演奏できるようにする。</p> <p>・4グループの(C, J)は、バチを持って自分の力で演奏できるように、スネアドラムを使用する。</p> <div data-bbox="801 526 1449 616" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>手本を見ながら、3拍子のリズム打ちをすることができる。(技能[観察] B, D, E, H)</p> </div> <div data-bbox="801 627 1449 716" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>休符を意識して、リズムカルに太鼓をたたくことができる。(技能[観察] G, I)</p> </div> <div data-bbox="801 728 1449 817" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>バチをもち、太鼓をたたき続けることができる。(技能[観察] C, J)</p> </div>	1 グループ	A, E	T1	2 グループ	F, G, I	T2	3 グループ	B, D	T3	4 グループ	C, H, J	T4-T5
1 グループ	A, E	T1												
2 グループ	F, G, I	T2												
3 グループ	B, D	T3												
4 グループ	C, H, J	T4-T5												
<p>全 (5)</p>	<p>(4)発表する。</p> <p>①伴奏に合わせて、太鼓をたたき、演奏する。</p> <p>①1 グループ ②1 グループ+2 グループ ③1 グループ+2 グループ+3 グループ というように、演奏するグループが増えていく。</p> <p>②みんなで一緒に演奏する。</p>	<p>・T1 はホワイトボードの前に全員並ぶことを伝える。</p> <p>・T1 は伴奏し、T2 は児童の前に立ち、リズム打ちの手本を示す。</p> <p>・T3～T5 は、児童の隣で言葉かけを行い、タイミングに合わせて自分の担当するパートを演奏できるようにする。</p> <div data-bbox="801 1115 1449 1205" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>伴奏に合わせて、自分の担当するパートを演奏することができる。(技能[観察]A, F)</p> </div> <p>・演奏後は、頑張った点や良かった点を具体的に伝える。</p>												
<p>クラス (5)</p>	<p>5 振り返りをする。</p> <p>(1)ミニホワイトボードを見て、自分の目標が達成できたかを確認する。</p> <p>(2)終わりのあいさつをする。</p>	<p>・T1 と T2 は、ミニホワイトボードを使い、一人ずつ目標が達成できていたかを確認し、赤ペンで丸を付ける。</p> <p>・T3～T5 は、児童が特に頑張っていた点を具体的に伝え、次の意欲につながるようにする。</p> <p>・ピアノの和音を号令の合図にすることで、音楽の授業の終わりを意識できるようにする。</p>												

【板書計画】

おんがく
音楽

もくひょう
目標

かしよう
おおきなこえで
たのしく！うたおう！

きがく
みんなで、リズムにあわ
せて、えんそうしよう！

きょう がくしゅうないよう
今日の学習内容

①もくひょうのかくにん
②しんたいひょうげん
③てとてととと
④たぬきのたいこ
⑤ふりかえり

歌詞カード

【机の配置】(全体学習)

